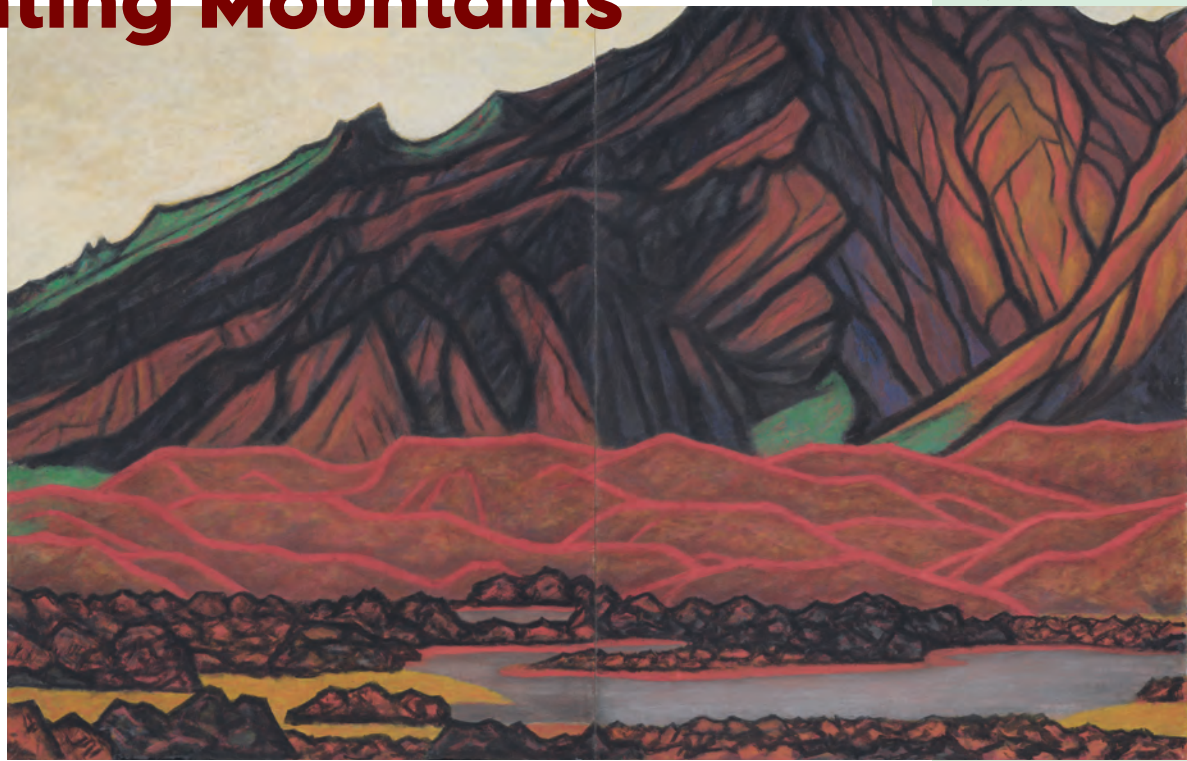


COLLECTION EXHIBITION

Collection Focus: Unknown Paintings and Words of Kunihiro Sasaki,
Painting Mountains

佐々木邦彦《磐梯》1960年 個人蔵



同時
開催

戦前戦後の前衛—特別展「没後30年菅井汲」にちなんで
Prewar and Postwar Avant-Garde in Connection to the SUGAI Kumi Exhibition

佐々木邦彦
知られざる絵と言葉

山を描く

コレクション
フォーカス

—佐々木邦彦「曆影（抜粋）」

高原をはって雲は疾
走した雲の切れ目
で白樺を動かす風が
鳴ったいかんとも
しがたい季節の重い
声がかそこにあつた

所蔵作品展

2026 10 | 17 (土) → 2027 1 | 17 (日)

〔開館時間〕9:00～17:00 ※金曜日は19時まで開館 ※入場は閉館の30分前まで

〔休館日〕月曜日（特別展の会期中・祝日・振替休日を除く）、12月25日～1月1日（年末年始）

※11月30日（月）は展示替えのため閉室

〔入館料〕一般510(410)円／大学生310(250)円 ※（ ）内は20名以上の団体

〔縮景園共通券〕一般660円／大学生350円 ※特別展は別料金

◎高校生以下無料 ◎当館で開催中の特別展入館券にて無料でご覧いただけます。

◎障害者手帳をお持ちの方や65才以上の方、県内の大学に在学する留学生の方などは無料（1階総合受付でお申し出ください）。



広島県立美術館

Hiroshima Prefectural Art Museum

2階展示室

<https://www.hpam.jp/>

第3期

山の姿を、山のこころを、精神を。

佐々木君は山を愛し、山を描いた。



佐々木邦彦《山勢(北アルプス薬師岳展望)》
1963年 個人蔵

本展は、京都を拠点に活躍した広島出身の日本画家・佐々木邦彦(1909-1972)を紹介する初の本格的な回顧展です。

川端龍子に師事した佐々木は、青龍展や個展を舞台に活躍し、「山の画家」として独自の表現を追求しました。その特徴は、自ら過酷な自然へ分け入り、山を単に「絵画」として画面に収めようとするのではなく、「山そのものの精神」へ迫ろうと葛藤を重ねたところにあります。圧倒的なスケールを誇る大作には、従来の日本画に見られる抒情性とは一線を画す、鋭く研ぎ澄まされた詩情に満ち、その画面は粗く鋭い筆致と重厚な色彩によって、厳粛な迫力を放っています。

本展では、現存する青龍展出品の大作6点を一堂に展示し、初期から晩年までの画業をたどります。

また、佐々木は、詩人としても活動しました。脚本家・依田義賢らと詩のグループ「骨」を結成するなど鋭い言葉を紡いだその試みに迫り、絵画と等しく彼の核をなす詩の世界をあわせて紹介します。また、同郷の丸木位里や中谷ミユキらの作品や資料を通じ、故郷・広島とのつながりにも光を当てます。

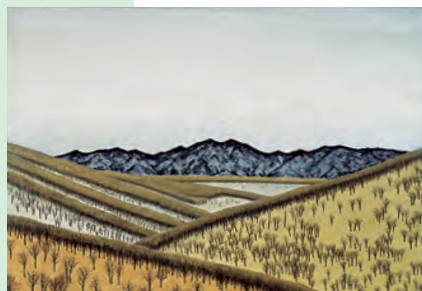
佐々木邦彦の静かで清烈な創作世界をぜひご覧ください。



『骨』第17号、
1960年7月 個人蔵



佐々木邦彦《穂高》1962年 個人蔵



佐々木邦彦《連嶺》1970年 広島県立美術館蔵



佐々木邦彦《山勢》1965年 個人蔵



佐々木邦彦
1953年
《明けゆく申斐駒》
広島市立飯室小学校蔵

◎ 同時開催「戦前戦後の前衛—特別展「没後30年 菅井汲」にちなんで」

特別展「没後30年 菅井汲」に関連して、菅井をはじめとした前衛美術作品を展示します。

◎関連イベント

美術講座「山を描く 佐々木邦彦—知られざる絵と言葉」

2026年11月22日(日) 13:30~14:30 地階講堂

講師：神内有理 (当館主任学芸員)

※聴講無料 ※要事前申込(電話082-221-6246)

ワークショップ「ことばが山になる」

会期中、常時 2階第4展示室前

協力：広島大学教育学部造形芸術系コース・美術教育学プログラム

※使用する台紙の数に限りがあります。

ギャラリートーク「山を描く 佐々木邦彦

—知られざる絵と言葉—

2026年10月30日(金) 15:00~ 2階展示室(3室・4室)

講師：神内有理 (当館主任学芸員)

ゲスト：多田羅多起子 (広島大学大学院人間社会科学部研究科 准教授)

※要入館券、会場(3室入口)でお待ちください。

ギャラリートーク「戦前戦後の前衛

—特別展「没後30年 菅井汲」にちなんで—

2026年10月23日(金) 15:00~ 2階展示室(1室・2室)

講師：山下寿水 (当館主任学芸員)、藤崎 綾 (当館主任学芸員)、

角田 新 (当館学芸員)

※要入館券、会場(1室入口)でお待ちください。

インスタライブ配信(約15分間)

閉館後の展示室内から

ギャラリートークをライブ配信します。

【3室】2026年11月17日(火) 17:00~

【4室】2026年12月1日(火) 17:00~

講師：神内有理 (当館主任学芸員)



公式Instagram

フリートークデー

10月18日(日)、11月15日(日)、12月20日(日)、1月17日(日)
9:00~17:00

子供も大人も自由に感想を話しながら気兼ねなく展示会を楽しんでいただけるよう、フリートークデーを実施。

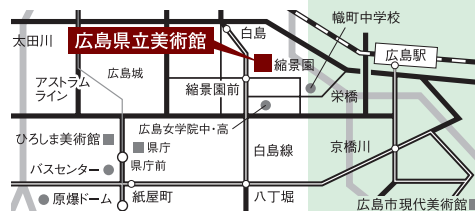
当日は下記イベントも併せて行います。

●作品を探しに行こう!

当館所蔵品の一部がプリントされた缶バッジを配布します。

どの作品がプリントされているか、展示室に作品を探しに行こう。

先着：30名 ※事前申込不要 ※要入館券



- アクセス ・JR広島駅より約1km ・広島城より約400m
- ・市内電車(「八丁堀」で乗り換え)白島線「縮景園前」下車約20m
- ・ひろしまめいぶる〜ぶ(広島駅新幹線口のりば発着、市内循環バス)
- 「県立美術館前(縮景園前)」下車約80m

広島県立美術館
Hiroshima Prefectural Art Museum

〒730-0014 広島市中区上鞆町2-22 tel. 082-221-6246

<https://www.hpam.jp/>